

研究者紹介 **私の研究**

人類研究部

人類史研究グループ
かいふ ようすけ**海部 陽介** グループ長

『アジアの人類史解明をめざして』



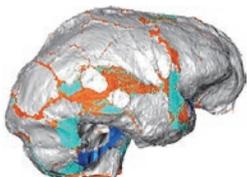
■ ジャワ原人の調査

2003年にサイエンス誌に発表したジャワ原人の頭骨化石について、不明であった出土層位と年代を決めるための調査を、科博・地学研究部と合同で行っています。2013年9月の現地調査では大きな進展があり、いよいよこの問題に決着をつけられるかもしれません。



■ フローレス原人の謎

東大のPD久保大輔さんと共同で、頭骨化石の高精度CTスキャン・データからフローレス原人の脳サイズを決定しました。この原人の進化において、劇的な脳サイズの縮小が起こった可能性を提起した成果は、BBCやナショナル・ジオグラフィックなど多くの国際メディアで紹介されました。



■ 琉球列島の人類史

「孤立した島々である琉球列島に、3万年以上前に、いったいどうやって人が渡ってきたのか」：この大きな謎を解明するための、共同研究プロジェクトを始めました。多様な分野の総勢20名近くの専門家らにより、この課題に挑みます。



| 研究員に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

化石の形態学から、人類の進化とアジア人の起源について解き明かすこと。それに考古学・遺伝学の情報を加えて、総合的なアジアの人類史を復元すること。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

天文学の研究者である父の影響があったと思います。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

フローレス原人論争で、自説が優位になってきていること。アジアの人類史が、これまでの想像以上に複雑であることがわかってきたこと。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

世の中には面白いことがたくさんあります。それを見つける感性を磨いてください！

